

施政方針

6/10に開会した第2回市議会定例会での「7年度施政方針」の概要をお伝えします
(施政方針の全文は、市HPに掲載しています)。



ステップアップ
とうかい



▲全文はこちら

「人と人のつながり・絆」を
大切にしたまちづくりに
取り組みます



東海市長 花田 勝重

1 期目を振り返って

「ふるさと東海市を誰もが誇れるまちに」という思いのもと、市政に取り組んでまいりました。

就任当初はコロナ禍で、ワクチン接種体制の整備や食事券・商品券の配布による生活支援など、迅速に対応しました。

さらに、加木屋中ノ池駅の開業や周辺の道路整備、循環バスの再編など、暮らしの利便性向上にも力を入れました。

また、公共施設や教育環境の充実、子育て支援にも積極的に取り組み、未来を担う子どもたちのためのまちづくりも進めてきました。

この4年間は、先人がまかれた希望の種を育て、着実に花を咲かせることができるよう、全力で傾注した1期目となりました。

2 期目の取り組み

これまでのまちづくりの歩みを「継承」しつつ、急激に変化する社会情勢や、多様化・複雑化する市民ニーズに柔軟かつ的確に対応できる強靱でしなやかなまちを目指し、東海市がさらに「飛躍」できるよう3つの重点項目に取り組んでいきます。

1 市民の生命・財産・暮らしを守る

近年の頻発化・激甚化する自然災害や南海トラフ地震に備え、災害に強いまちづくりを進めていきます。

2 社会インフラ整備の着実な推進

西知多道路大田インターチェンジ（仮称）の整備や、太田川駅西土地区画整理事業、名和駅西土地区画整理事業、加木屋中部土地区画整理事業を進め、雇用創出や定住人口・交流人口の拡大につなげていきます。

3 少子高齢化に伴う人口減少への取り組み

子どもたちや若い世代に東海市の魅力を感じていただけるよう、結婚・出産・子育ての切れ目ない支援の充実や、住宅施策を始めさまざまな子育て施策に「まったなし」で取り組んでいきます。

子ども・子育て分野

子どもたちにとって「遊び」は身体能力や創造性を育む上で必要不可欠です。天候に関わらず、安全に遊べる屋内のこども遊び場の整備をします。

小学校の屋内運動場への空調設備の導入や保育園園庭に日よけネットの整備も進めます。

第2子以降の保育料等の無償化を認可外保育施設等にも拡充します。



5,945万円

保育園の園庭に日よけネットを整備
(7年度は4園を予定)

環境・経済分野

脱炭素社会実現のため、ペロブスカイト太陽電池の導入の検討や、公共施設のLED化を進めます。

ごみの減量、循環型社会の構築に向け、生ごみ処理機購入への補助など家庭での取り組みを支援します。

物価高に苦しむ小規模事業者と市民生活を下支えするため、昨年度に引き続き、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施します。



2億7,896万円

キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施

地域づくり分野

戦後80年という大きな節目を迎えます。改めて戦争の悲惨さを胸に刻み、平和の尊さについて深く認識し、先人たちの尽力により築かれた「ひとづくりと平和を愛するまち東海市」を次世代に引き継いでいきます。

多様な性に関する相談窓口を設置し、専門的な支援を行います。



戦後80周年企画
「戦争を知らない私たちが考え・伝えること」

250万円

平和の大切さなどを感じられるさまざまなイベントの開催

健康・生涯学習分野

骨折のリスクが高まる骨粗しょう症の予防・早期発見のための検診や、後期高齢者の方を対象とした歯科健診を実施します。

8年度の第20回アジア競技大会に向けた市民体育館の整備や、新たなスポーツ拠点施設の整備などを進め、健康増進はもとより、世代間交流や新たなコミュニティの形成の促進、「スポーツのまち」としての魅力を高めていきます。



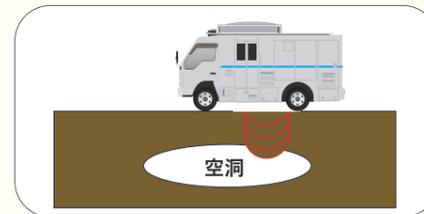
1億6,239万円

カバディ競技の開催を予定している市民体育館の整備

安心安全・都市基盤分野

いつ発生するか分からない大規模災害への備えとして、避難所環境の向上を図るため、貯留型マンホールトイレの整備を計画的に進めていきます。

日常的に利用する道路の安全確保のため、路面下の空洞調査及び補修を実施します。



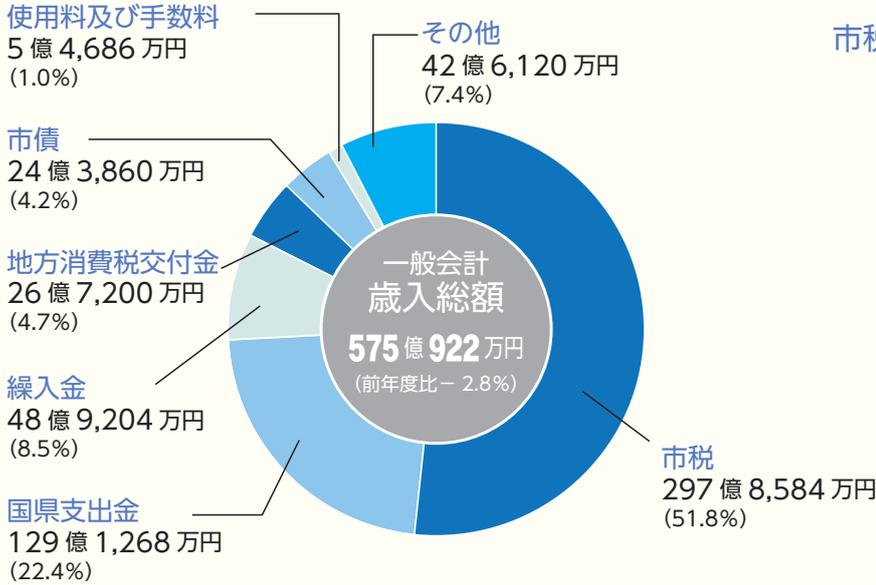
1,809万円

空洞探査車による調査の実施

※端数処理（四捨五入）により合計が合わない場合があります。

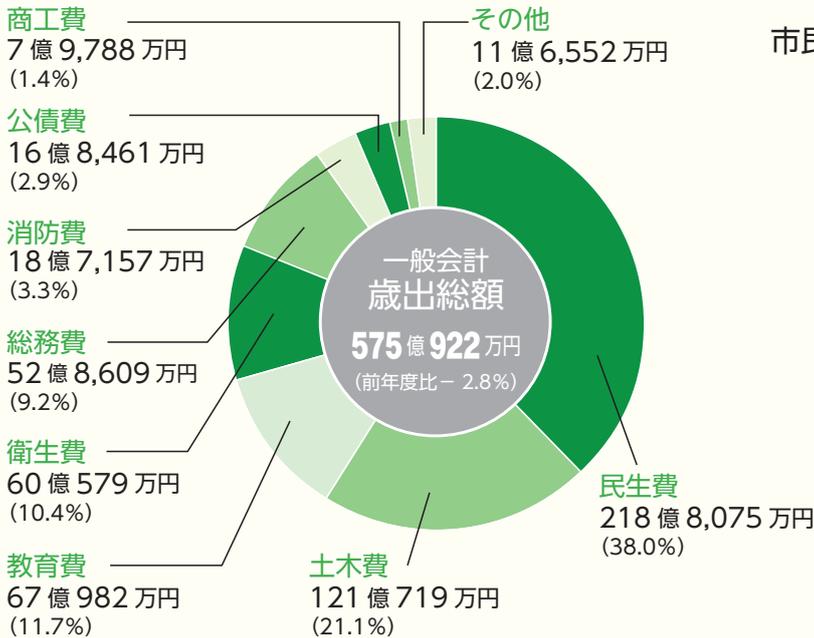
予算概要

7年度予算（6月補正後） 一般会計 575億922万円



市税の内訳

| | |
|---------------|-------------|
| 固定資産税 | 168億2,300万円 |
| 個人市民税 | 78億300万円 |
| 都市計画税 | 23億430万円 |
| 法人市民税 | 16億6,480万円 |
| 市たばこ税 | 8億1,400万円 |
| 軽自動車税（種別割） | 2億9,520万円 |
| 国有資産等所在市町村交付金 | 5,154万円 |
| 軽自動車税（環境性能割） | 2,100万円 |
| 入湯税 | 900万円 |



市民1人当たりの予算額 50万7,843円

市民の人数 11万3,242人（7年4月1日現在）

| | |
|----------------------|-----------|
| 民生費（社会保障、子育て支援など） | 19万3,221円 |
| 土木費（道路、公園整備など） | 10万6,914円 |
| 教育費（小・中学校教育、社会教育など） | 5万9,252円 |
| 衛生費（健康増進、ごみ処理など） | 5万3,035円 |
| 総務費（市役所の運営、交通安全対策など） | 4万6,680円 |
| 消防費（消防、防災対策など） | 1万6,527円 |
| 公債費（市債（借入金）の返済） | 1万4,876円 |
| 商工費（商工業の振興など） | 7,046円 |
| その他（農林水産業費、労働費など） | 1万292円 |

特別会計の予算 135億8,494万円

| | |
|----------------|------------|
| 国民健康保険事業 | 90億5,510万円 |
| 後期高齢者医療事業 | 20億9,456万円 |
| 太田川駅周辺土地区画整理事業 | 4億9,905万円 |
| 加木屋中部土地区画整理事業 | 19億3,623万円 |

企業会計の予算 132億7,570万円

| | |
|-------|------------|
| 水道事業 | 33億2,949万円 |
| 下水道事業 | 99億4,621万円 |

問 財政課 ☎ 052-613-7569、0562-38-6196